

沖繩県

Okinawa



自然環境



文化



歴史



平和学習



産業



沖縄県 基本情報

ここにしかない自然・文化・歴史・平和をリアルに体験

心に響く大きな学びが未来につながる 沖縄修学旅行

世界に誇る美しい自然や貴重な生き物、琉球王国時代から受け継がれる独自の歴史や文化、住民を巻き込んだ戦争や今なお続く基地問題、日本とアジアを結ぶ物流拠点として急成長する産業、そしてこの島で暮らす人々。

沖縄教育旅行の最大の魅力は、平和学習や異文化への理解、環境問題などについて、子どもたちにリアルな体験を通じて総合的に学べること。

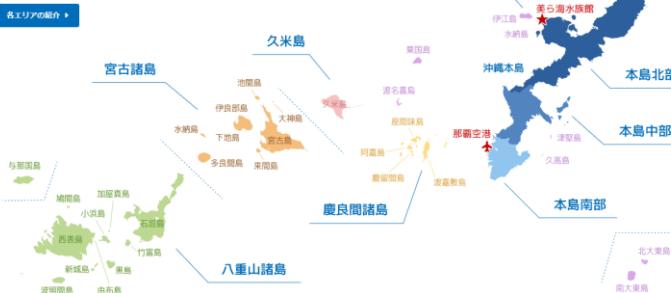
子どもたちの生きる力・考える力が身につく「宝物」のような体験がつまつた沖縄は学びの宝庫です。

また、沖縄県は、令和3年5月、SDGsの達成に貢献する優れた都市として、SDGs未来都市に選定されました。沖縄ならではの持続可能な社会を多くの子供たちに体験をしていただくことができます。

沖縄県は生徒一人ひとりの生きる力、未来を創造する力を育みます。

Area Guide Map

エリアガイドマップ



沖縄県

県庁所在地 **那覇市**

人口 約145.8万人

面積 2,281km²
(全国で4番目に小さい県)

気候 日本で唯一の亜熱帯海洋性気候

年間平均気温 23.1°C

主な産業 観光業

問い合わせ 一般財団法人
沖縄観光コンベンションビューロー[®]
教育旅行チーム

電話 098-859-6129

メール shuryo@ocvb.or.jp



©OCVB



©OCVB



©OCVB



©OCVB

沖縄県へ来られる皆さまへ



沖縄県は、毎年、多くの修学旅行生にお越しいただき、平和学習をはじめ、沖縄ならではの学びを体験していただいている。新型コロナウィルスの影響で、昨年度、今年度と受入は減っていましたが、沖縄県は安全安心な修学旅行を目指して、様々な取り組みをしております。

人間には「旅」の遺伝子があると言われており、旅行で得られる感動や驚きは人生を豊かにすると確信しています。

是非、沖縄へ修学旅行にお越しいただき、かけがえのない時間を過ごしていただきたいと思います。

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー 会長 下地芳郎

本島南部エリア



琉球、沖縄の歴史が凝縮した場所

沖縄の玄関口である那覇市を含む本島南部は、歴史的文化遺産の宝庫です。その一方、沖縄戦最後の激戦地でもあり、多くの戦跡が点在しています。

那覇市にある国際通りは、戦後復興のシンボルとして繁栄を遂げた「奇跡の1マイル」として知られています。現在はお土産物店を中心に幅広いジャンルの店が立ち並んでいます。

また、沖縄県はかつて琉球王国と呼ばれる独立した国あり、王都であった首里には、多くの文化財があります。首里城は世界遺産に登録されています。

本島南部は沖縄戦当時、連合国軍が日本の主力部隊を追い詰めた最後の激戦地で、住民も激しい地上戦に巻き込まれ、糸満市を中心に戦跡が数多く残り、戦争の悲惨さや平和の大切さを伝える資料館が各地にあります。

沖縄戦終焉の地 糸満市

戦後の沖縄観光は沖縄戦で家族を亡くした日本全国の遺族による慰靈訪問から始まったと言われ、その多くが沖縄戦終焉の地、糸満・摩文仁の丘を訪れ、日本唯一の戦跡国定公園に指定された、その美しい海岸線に手を合わせました。修学旅行においても平和学習で糸満を訪れる学校は多く、戦争の記憶を風化させず、次世代へ繋ぐ平和の大切さを学ぶ、重要な場所であるといえます。また、糸満市は平和学習だけでなく、伝統文化を大切にしており、ハーレー体験は海人文化を学ぶ体験としてもお勧めです。

【問合せ先】糸満市観光協会

TEL 098-540-3100

<https://www.itoman-okinawa.jp/>



日本最南端と最西端の駅がある 沖縄唯一の軌道交通 ゆいレール

沖縄都市モノレール・ゆいレールは、日本最西端の駅・那覇空港から最南端の駅・赤嶺駅を通り、観光エリアの国際通りや首里に向かう県内唯一の軌道交通です。

2019年10月には首里から浦添地区まで延伸し、浦添前田駅からは、浦添城跡（琉球王国ゆかりの居城跡）に徒歩で行くことができるようになりました。また、市内唯一のビーチ・波の上ビーチも徒歩圏内です。その他、様々な那覇市内の施設にアクセスすることができます。

Suicaなど交通系ICカードも利用できるようになりました。団体利用の料金もございます。



本島中部エリア。



異文化と交錯した独特的雰囲気の街

米軍基地が集中している本島中部地域。那覇市から北上すると、道の両側がフェンスで覆われている場所が見えます。米軍基地です。全国の米軍専用施設の74%が沖縄に集中しており、中でも中部地区のおよそ4分の1が米軍基地となっています。極東最大の米空軍基地・嘉手納基地をはじめ、普天間飛行場など広大な米軍基地が存在します。

また、戦後アメリカ軍の統治を経験したこと、米軍基地に駐留するアメリカ人の影響を受け、アメリカナイズされた文化と昔から残る街並みが交錯した、チャンプルー文化が花開くエリアとなっています。

沖縄市

伝統文化と異文化が融合した
魅力溢れるまち

沖縄市は、嘉手納基地の門前町としてアメリカ文化を吸収し、戦後チナーンチュが懸命に生きてきた証が色濃く残り、また現在でも約60ヶ国の外国人が暮らす国際文化都市です。

そんな沖縄市では、After 1945～基地のまちKOZAを歩く～という平和学習プログラムをご案内しています。米軍統治下時代をたくましく生き、独特な文化を生み出してきた基地のまちならではの歴史をガイドと共に学びながら、終戦から現代へつなげる平和を学ぶことができます。

【問合せ先】沖縄市観光物産振興協会

T E L : 098-989-5566

Mail : info@koza.in



© 沖縄市観光物産振興協会

伝統芸能「エイサー」の体験を通して 沖縄の文化・芸能を学ぶ

エイサーは旧盆に県内各地で踊られる盆踊りで、沖縄県民にとって非常に大切な文化であり芸能です。エイサーの歴史やどのように踊られ、継承されているのかを学びながら体験することで、自分たちの地域にある文化や芸能についても考える機会となります。

エイサー会館では、沖縄が誇る伝統芸能エイサーの発信拠点施設として、エイサー文化の保存や継承に取り組んでいます。

【問合せ先】エイサー会館

TEL 098-989-5066 <https://eisa-museum.jp/>



© エイサー会館

本島北部エリア・今帰仁村



歴史と文化が感じられる自然豊かな景観と人の温もりを体験できる場所

今帰仁村は自然豊かな景観から、映画や、プロモーションビデオや、CM等の撮影も盛んに行なわれており、JALのCMで有名になった古宇利島のハートロックや、古宇利大橋、今泊集落のフクギ並木、村内の各所にある天然のビーチなど、実際に見て感じることができます。名産の今帰仁スイカは1年中栽培を行っており、夏のスイカと冬のスイカで季節によって風味が変わります。村内で採れる肉や野菜や果物などの直売所もあり、飲食店や宿泊施設でも食べることができます。青い豊かな海を生かしたマリン体験、自然を生かした文化体験、歴史や風土や文化を生かした体験学習など、遊びや体験なども広く行うことができます。

この様な環境から修学旅行も多く訪れており、教育旅行民泊体験も2013年から盛んに行っています。近年多様化している修学旅行に対応した、新しい体験プログラムを用意して皆様をお待ちしています。

沖縄県 今帰仁村について

今帰仁村は那覇空港から車で約90分の沖縄本島の北部やんばるエリアに位置し、亜熱帯気候の農村でありながら、サンゴが豊富な青い海に囲まれた自然豊かな小さな村です。村内には天然のビーチや山岳地もあり、沖縄本島で一番長い橋の古宇利大橋と古宇利島は古宇利ブルーとも呼ばれ、国内有数の青い海に囲まれた景勝地でもあります。夜は天の川や満天の星空を、冬は電照菊を見ることができます。また世界文化遺産の今帰仁城跡があり、世界自然遺産に認定された沖縄本島北部エリアにも接しています。今泊地区のフクギ並木は国の重要文化的景観に指定され、村内の至る所で古き沖縄の姿を感じられます。美ら海水族館から車で約20分、許田ICからは約30分と好立地な場所に位置しています。



今帰仁村教育旅行民泊体験の目指すもの

今帰仁村観光協会が実施している今帰仁村教育旅行民泊体験は、今帰仁村内の民家のみで構成され、小さい村ならではの特性を生かした安全安心をもとに、「楽しく学べる」をコンセプトに民泊事業を行っています。コロナウィルス対応ガイドラインや民泊内で行う感染症対策動画の作成、日帰りプランの作成、民泊内で行えるSDGs・平和学習・郷土学習・環境学習などの新規プログラムの開発を行っています。豊かな自然を生かした従来の温もりのある「民家体験」に加え、民家と共に地域特性を生かした「楽しく学べる」学習要素も加えた、教育旅行民泊を目指しています。

詳しくは今帰仁村観光協会のホームページをご覧下さい。

【お問合せ先】一般社団法人 今帰仁村観光協会

TEL : 0980-43-7477 HP : <https://www.nakijinson.jp/>



© 今帰仁村観光協会



© 今帰仁村観光協会



© 今帰仁村観光協会



© 今帰仁村観光協会

本島北部エリア・最北端やんばるで体験する民泊



©国頭村観光協会

豊かな自然と、独自の文化が色濃く残る沖縄の原風景 ～ヤンパクで「見て」「触れて」「味わう」やんばる生活疑似体験～

やんばる地域では昔ながらの農業や、漁業を生業としている家庭も多く、各家庭、地域によってさまざまな体験が行われています。

特にシークワーサーやパイン、マンゴーといった南国フルーツの植え付けや、収穫体験は生徒からも人気が高く、生産者から直接話を聞く機会は食育としても高い評価をいただいている。

やんばる地域の多くは国立公園、世界自然遺産に分類されています、その中で農業や漁業を生業にしている民家の自然との接し方に是非注目して話を聞いて頂きたいと思います。

世界自然遺産やんばる 豊かな自然が残る北部地域

やんばるという言葉を耳にしたことはありますか？漢字で「山原」と書いて「やんばる」。沖縄本島の北部、森林など多くの自然が残っている地域の総称で、琉球王朝時代の三山時代は現在の恩納村・金武町より以北をやんばると区分していましたが、単に沖縄本島の名護市以北をやんばるとすることもあります。今では大自然の残る国頭村・大宜味村・東村の3村をやんばると区分して示すことが多くなりました。

2021年7月に「奄美大島、徳之島、沖縄本島北部及び西表島」としてやんばる地域が世界自然遺産に登録されました。



©国頭村観光協会

世界自然遺産を守る！！

SDGs対応型 環境教育プログラム

世界自然遺産登録を受けたやんばる地域ですが、まだ多くの課題があります。その中でも侵略的外来種（植物）対策の一環としてヤンパクでは「SDGs対応型環境教育プログラム」に、取り組んでいます。

やんばるの自然を熟知した専門講師が行う旅前の事前学習、旅中で実際に森で外来種防除を行う体験学習、旅後の振り返りサポートを通して環境について考えるきっかけを与えると共に、世界自然遺産保護活動に貢献したという唯一無二の体験を提供いたします。

【問合せ先】

やんばる民泊予約センター

TEL : 050-3196-1432 FAX : 050-3145-2859

E-mail : info@yanpaku.jp



©国頭村観光協会

八重山エリア



11の有人島で構成される個性豊かな島々

サンゴ礁に浮かぶ八重山の島々は、それぞれ個性的な表情を持っています。その中心が石垣島で、川平湾は世界的に権威ある観光ガイド、ミシュランの三つ星観光地にも選ばれた名勝です。西表島は沖縄本島に次ぐ広さで、その9割が亜熱帯の森に覆われており、国の特別天然記念物イリオモテヤマネコはこの島だけに生息します。竹富島は赤瓦屋根が美しい景観を生み出し、集落全体が国の伝統的建造物群保存地区に指定されています。

また、それぞれに島には、独特の踊り、祭りが残されています。



石垣島

個性豊かな島々が伝える学びの旅

石垣島では、マリンスポーツをはじめ、自然観察・星空観望会・歴史や伝統文化・平和学習・周辺離島をめぐるツアーなど、SDGsを始めとした個性豊かな体験メニューが豊富です。各事業所では感染対策ガイドラインに基づき受け入れをしており、体調不良の症状がある生徒等への対応や連携も整えております。

日本最南端の島々が伝える学びの旅をぜひお楽しみください。

【問合せ先】石垣市観光交流協会

TEL 0980-82-2809

<https://yaeyama.or.jp/>



石垣市観光交流協会

海上保安庁 石垣航空基地 ～未来の平和を考える～

石垣海上保安部等では「未来の平和を考える」をテーマに修学旅行の生徒受入れを行っております。業務内容に関する講話をはじめ、巡視船や航空機の見学を通して、八重山諸島の海で現在起きていることを学び、過去だけではない、未来についても考える平和学習コンテンツを提供しております。

【問合せ先】

一般社団法人 八重山ビザーズビューロー

TEL : 0980-87-6252

<https://yvb.jp/>



写真:八重山ビザーズビューローパンフレットより

施設紹介



～忘れられない、二十世紀の爪あと～

旧海軍司令部壕事業所

ビジターセンター内資料館には、壕内で発見された戦争当時の遺品や戦争関連資料が展示されています。旧日本海軍によって掘られた壕が当時のまま残っています。戦争の事実を今に伝える貴重な資料として整備、保存されています。



写真：国営沖縄記念公園（首里城公園）

「見せる復興」に注目

首里城公園

首里城は琉球王国の王宮であり、首里王府の本部でした。国宝に指定されていましたが、戦争で焼失。その後復元されましたが、2019年10月31日、火災により建物8棟が焼失してしまいました。現在は「見せる復興」として、世界遺産である正殿の基壇遺構などを展示しており、日々変わりゆく復興の様子を確認できます。



海中展望塔とグラス底ボートで海中散策

ブセナ海中公園

ブセナの海に生息している熱帯魚や生き物、サンゴを観察することで沖縄の自然の豊かさと環境保全の大切さを考える機会をご提供いたします。海中展望塔では真横から自然の水族館のように、グラス底ボートでは真上からダイビングをしているような感覚で海中を観察できます。

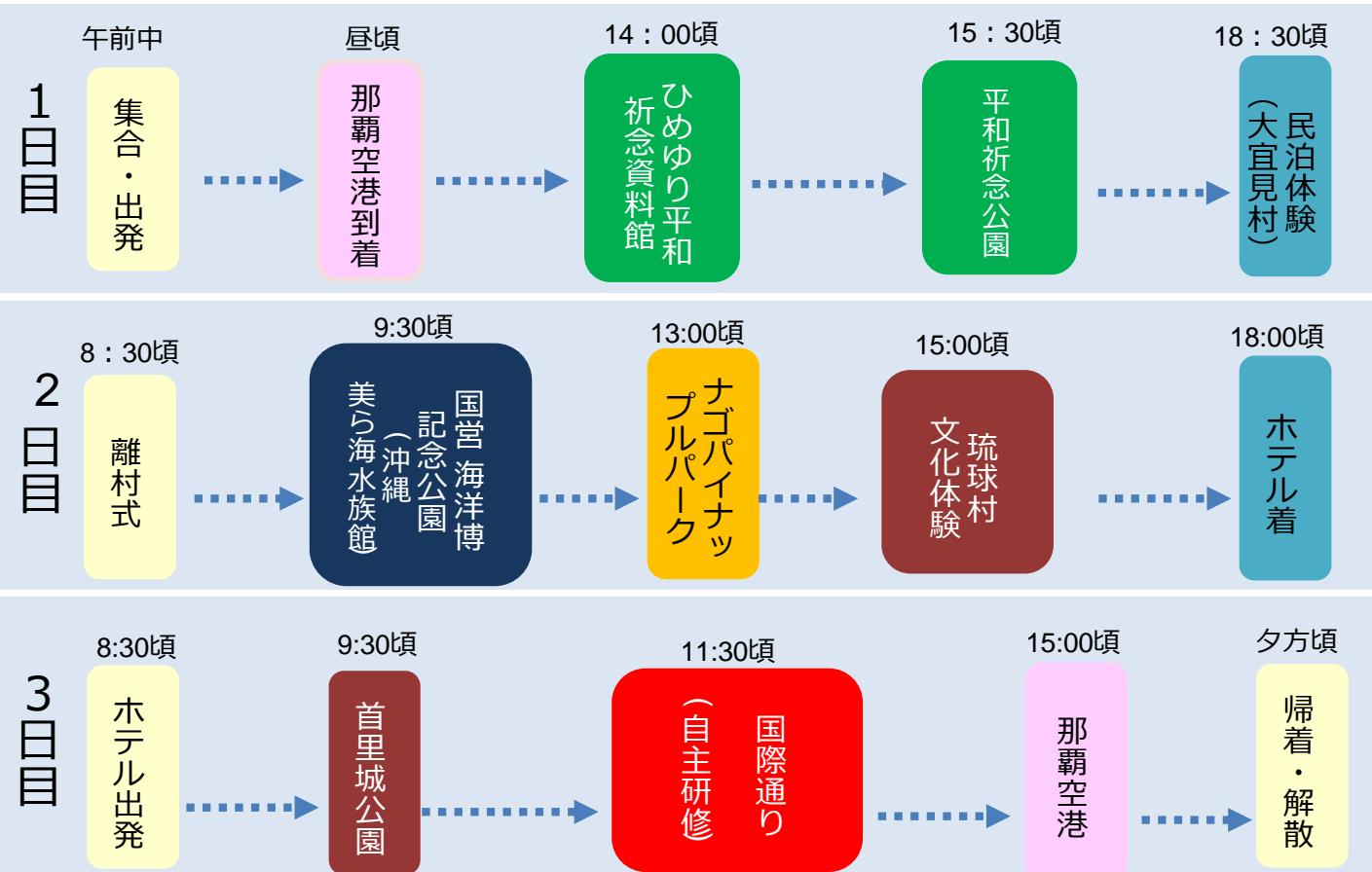


回遊魚たちが泳ぐ世界最大級の水槽

沖縄美ら海水族館

沖縄周辺の海は「巨大な暖流（黒潮）」「サンゴ礁」「深海」という大きく3つの要素から構成されており、沖縄美ら海水族館ではそれを再現した展示を行っています。世界最大級の大きさを誇るメイン水槽には、魚類最大のジンベエザメやナンヨウマンタを始め、約60種、6300匹もの生物が飼育されています。

モデルコース



■ひめゆり平和祈念資料館



©ひめゆり平和祈念資料館

ひめゆり学徒隊の戦争体験を伝える平和ミュージアムです。2021年4月12日にリニューアルしました！イラストや楽しい学校生活の写真を取り入れ、若い世代にも親しみやすくなりました。

■平和祈念公園



©OCVB

資料館と連携しながら平和学習や講話、ガイド、沖縄県平和祈念資料館常設展示場での解説を行っています。

■収穫体験（大宜味村）



©OCVB

田舎ならではのスローな癒やしの時間の中、農家さんの家族の一員になり過ごす農村生活体験は何事にも変えられない貴重な体験になります。第二のふるさと大宜味村でお父さん・お母さんが待っています。

■ナゴパイナップルパーク



©ナゴパイナップルパーク

パイナップル畑などジャングルのように生い茂った植物の鑑賞、沖縄のパイナップルの歴史をレクチャーや資料で学ぶことができます。また、パイナップルを使ったスイーツもお土産にご用意しています。

■国際通り



©OCVB

通りには約600の店やその他の事業所が軒を連ね、レストラン、サービス、雑貨店などや、ホテル、お土産屋などの観光客を対象とした、たくさんの店でぎわっています。

■琉球村



©琉球村

沖縄の文化体験やお食事などがお楽しみいただけます。入場料のないフリーゾーンでもお食事、体験、ショッピングなどお楽しみいただけます。沖縄にきた時はぜひお立ち寄りください。